

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年6月29日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件
2. G II グレード 0件
3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)の点検時、圧縮機吐出冷媒バイパス弁と弁駆動用電動機を繋ぐ継手ピンの破損を確認した。当該ピンを修理。	
2	3号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(A)および(C)の点検時、分解部品(主軸、羽根車など)の浸透探傷検査において指示模様を確認した。当該部品を修理。	
3	3号機	原子炉補機冷却水系熱交換器(E)の点検時、渦流探傷検査において伝熱管3本に管理値を超える減肉を確認した。当該伝熱管を修理。	
4	6号機	タービン建屋最上階(管理区域)主排気ダクト室の天井部から雨水が滴下し、床に水溜まり(約24リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施、受け用バケツ設置済み。当該部を点検・修理。	
5	その他	発電所構内でのタンクローリー走行訓練中、他社管理の看板に誤って接触し破損させたことを確認した。当該看板を修理し、当該事象の原因を調査。	